

農時電送

H30 水稻 No.①

概況 3月の高温により急激に融雪が進み、アメダス地点（今金）では3/29に積雪ゼロに到達しました。（過去10年平均より3日早い）
融雪後の水田は、水が溜まっているほ場や乾いているほ場など様々ですが、まず乾いていることが米づくりの基本ですので適宜適切な対応を進めましょう。

3月気温：1.6℃/日(+1.5)
降水：93mm(+18)
日照：151時間(+36)
積雪：114cm ⇒0(3/29)

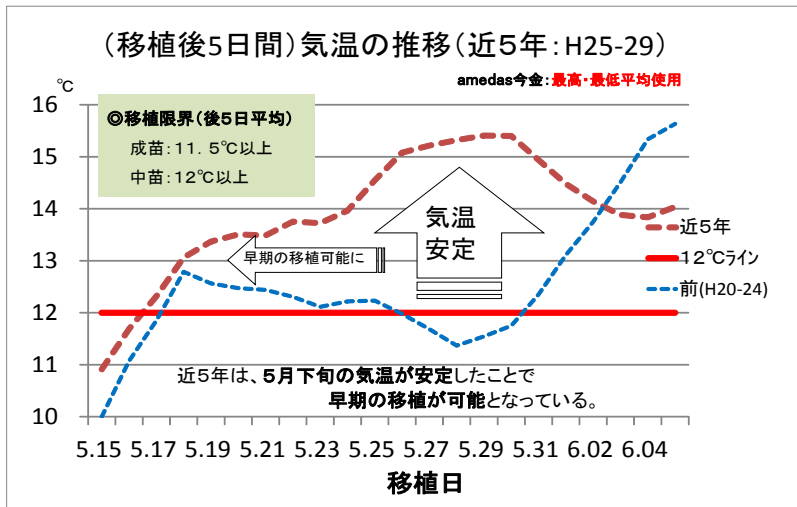
1. 透排水改善について ” 早めに乾かす”

- ①溝切りによる表面水排除 ⇒ 乾燥化
- ②心土破砕、稲ワラ回収or粗耕起（スタブルル等）
- ③ほ場の均平化（レベラーの活用）、畔塗り等

2. 育苗計画について ” 今年はずっくり播いて⇒早めに移植を”

近年、4～5月の高温で苗の仕上がりが早く（移植が遅れ）老化・徒長苗となる場合や更には不時出穂に繋がるなどの問題が（成苗を中心に）多く見られています。

- ①成苗の育苗日数は30日程度に ⇒ 移植計画に合わせて、播種はずっくりと。
- ②近年は5月17日頃から移植可能温度に達していますので、移植は早めに。



◎早期異常出穂抑制のための苗形質と育苗管理の留意点 (成苗ポット) (H26普及推進事項)

移植時 苗形質	草丈	10~13cm
	乾物重	3.0~4.5 g/100本
	品種別 目標葉数	きらら397(低)* 3.6~4.4葉以内 ゆめぴりか(中) 3.6~4.3葉以内 ななつぼし(高) 3.6~4.0葉以内
育苗管理 の留意点	育苗温度	簡易有効積算温度: 400℃以内
	管理	2.5葉期以降は25℃以上としない。
	育苗日数	中生品種は30~35日

*品種名の()は早期異常出穂リスクの程度

3. 育苗床土について

- ①育苗様式別施肥基準（基肥）・・・右表のとおり
- ②置床の調整（成苗）
（毎年の育苗で）酸性化とリン酸の蓄積が進行していますので土壌診断と対応を進めましょう。具体的にはpH4.8を目標にカルマグ(石灰・土)等を施用する。特に「苗の異常褐変症状」が発生しているほ場は要注意です。
- ③置床施肥：リン酸過剰のほ場が多く、硫安等の単肥又はリン酸の少ないS066等で対応する。
(10-6-6, 土・カリン・樹素入り)

◎育苗施肥基準（基肥） 道施肥ガイド2015より

苗箱・ポット(枠)	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
マット苗 g/箱	1.0	1.0	1.0
箱ポット g/箱	0.6	0.6	0.6
成苗ポット g/枠	0.5	0.5	0.5

置床施肥	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
成苗ポット g/m ²	25	30	20
及び型枠 (g/坪)	(83)	(96)	(66)

春の農作業、声かけ合って事故防止を！